

令和3年度人権に関するポスターコンクール審査講評（最優秀賞）

（全体の部）

人種や性別を超えた一人一人の個性を、切り紙の模様の違いで表現している発想がすばらしく、「開けば見えてくる それぞれの個性」というコピーも洗練されています。また、彩色も大変美しく、切り紙の立体感や質感まで見事に表現されています。ポスターとしての表現力の高さが光る作品です。

（小学校低学年の部）

作者は友達と一緒に虫取りをして遊んだことが、とても楽しかったのでしょう。みんな大きく手を広げて、ニコニコの笑顔です。ヒマワリの隣に描かれているのが作者でしょうか。まるで、ヒマワリと一緒に手を広げて遊んでいるようにも見えます。子どもたちの笑顔があふれる社会にしていきたいと思わせてくれる作品です。

（小学校中学年の部）

演奏しているのはユーフォニウムでしょうか。楽器からはヒマワリが奏でられるように描かれています。きっと優しく温かいメロディーが演奏されているのではないのでしょうか。「よくきいて つくろう 心のハーモニー」というコピーもとてもよく考えてあり、絵にぴったりだと思えます。また、演奏している人の表情や指、楽器の細部までよく観察して描かれています。

（小学校高学年の部）

とても明るい色調で描かれており、見る人を明るく元気にしてくれるような作品です。ヒマワリの花の後ろに描かれた人たちは全員笑顔で、ポスターを見ている人に手を振って呼びかけているようにも見えます。また、文字の色を暖色のグラデーションで塗ってあることで、暖かく優しい気持ちで呼びかけているように感じます。作者の優しさを感じる作品です。

（中学校の部）

単純化された人物をゲームの主人公に見立て、顔のない主人公の内面をコマンドで表現するアイデアが見る人の興味を惹きつけます。また、それ以外のものをモノクロで描くことによって、作者が伝えたい内容を効果的に表現することができています。図案や構図の技能の高さはもとより、モノクロでの表現やコマンドの透明感の表現力も素晴らしいです。

（高等学校の部）

人権という文字を大きく配置した構図から、人権の大切さと重みを感じさせてくれる作品です。その人権を支えている手の配色にも工夫がされており、社会全体で守っていかなければならないことを印象付けています。

（特別支援学校の部）

たくさんの笑顔でいっぱい作品です。きっと作者は、大好きな人たちがたくさんいる中で過ごしているのでしょう。描かれている一人一人が、こちらに笑いかけたり、話しかけたりしているようです。背景の色もとても明るく、重なってできた色がとても美しいです。見る人を温かい気持ちにしてくれる作品です。

（一般の部）

青い空の下に広がるヒマワリ畑が、夏の日差しを受けて色濃く輝き、生命感を強く感じる作品です。黄色いランドセルに黄色い帽子の小学生からは、ヒマワリと同じように健やかに成長してほしいと願う作者の思いが伝わってきます。また、書かれている言葉も効果的で、作品を見ている人が、小学生と対話をしているような気持ちにもさせてくれます。